



弁護士法人 神戸シティ法律事務所



News Letter

喜びと笑顔に出会うために

H27.1.1 発行

ご挨拶

2015年、当事務所は22年目を迎えることになりました。昨年は、20周年記念講演会・懇親会にはじまり、4月には若手弁護士を社員に登用し5名によるパートナーシップ体制を構築、ミャンマーデスク開設、民間企業への弁護士出向、20周年記念連続セミナー・ミャンマー進出法律セミナー、サマークラーク（インターンシップ）、所内での人事評価制度賃金体系プロジェクト・各事案ごと特別研修会開催・英語によるe-mailレッスン受講など、内部体制を充実させ、さまざまな活動を通じまして、あらたな10年に向けてスタートいたしました。

日本は今年、戦後70年を迎え、経済及び国民の社会生活において大きな変化を経験しています。私たちは、この神戸に拠点をおく法律事務所として、皆様方の人生や事業がよりよい方向に向かうために、法律事務所をひとつのインフラととらえて整備を継続していきたいと考えております。そのために所内では法研鑽によるサービス品質の向上はもちろん、高い倫理感をもった弁護士・事務スタッフを育成し、皆様方に対する情報発信を密にさせていただき、皆様からのニーズに真摯に応えてまいりたいと考えております。

そして、さらなる発展を期し、法律事務所としてのあらたな可能性に挑戦し、日常の顧問契約等によるアドバイスと戦略的な法務サービス、個人の皆様にはカウンセリング手法をもちいたご安心と解決への道筋とベストな解決を目に見える形でご提示させていただきます。

皆様方の「喜びと笑顔に出会うために」、「もう一度行ってみたい法律事務所」と言われるために。私たちは、全員一丸となってこのポリシーを貫徹し、一味もふた味も違う法律事務所であり続けることをお約束いたします。今年も皆様方との素晴らしい出会いをお待ちしております。

2015年（平成27年）1月

弁護士法人神戸シティ法律事務所
代表社員 弁護士 井 口 寛 司

「喜びと笑顔に出会うために」



「絆創倅（しあわせのきずなづくり）」

業種は、弁護士事務所と美容室。しかし、どちらもお客様にぴったりの“ゴールデンフォルム”を創りたいという思いでは一致します。今回は、そんな下地宏和さんとの対談が実現しました。（弁護士 井口寛司）

●井口 本日はお忙しいところをこのような対談の機会をいただきありがとうございます。ashaさんに初めて行かせていただいたとき、すごい美容室だなと思ったんです。スタッフのみなさんがイキイキと動きまわっていて、お客様の年齢層も幅広い。お客様がみんな楽しそうにしています。オーナーは、「絆創倅（ばんそうこう）」=人の喜びことをすれば、喜びは必ず帰ってくる。」を経営理念とされ、お客様の笑顔、特にお客様が自分の大切な人から「その髪、似合っているね。」と言われることがもっともの喜びだとおっしゃっています。私たちとは業種は全く異なるのですが、同じ思いをもって経営されているのかなと思います。



●下地 ありがとうございます。2002年にオープンしたのですが、とにかくお客様のお役に立つことを一番の喜びとして、「絶対満足」という接客理念で経営してまいりました。高い技術をもって、身体にも地球にも優しい本当にオーガニックなよい素材の商品を使うこと、そして髪が内側から輝き出すように美しさを実感いただきたいと考えています。ですから、当初は、顧客層として、価格設定を維持しながら「素材」や「技術」を理解してくれる年齢層を想定していたのです。その方々がだんだんとファミリーをもたれ、子どもさんから若い女性まで幅広くご利用いただける店になってまいりました。

●井口 素晴らしいです。ashaさんに行くと感じが味わえます。男性だって髪の悩みというのはとても重要なことです。しかも、他人から「いい感じ!」と言ってもらえるというのは本当に嬉しいですからね。私たちの仕事も、法律というツールを使いながら、人生や生活そして事業活動での悩みをお聞きして、それをお客様の人生や事業にとってよい方向に変えていく仕事をさせていただいています。私たちの仕事によって悩みを解消し、生き活きと笑顔になって活動してもらえたら、そんな素晴らしいことはありません。

●下地 美容師は、ひとりひとり職人ですし、あたり前の

ことをあたり前に実現していく人間でなければなりません。お客様から信頼されて、それをあたり前に実現していく人間でないと、いい仕事はできません。確かに、弁護士は職人というイメージよりは法廷で闘っているというイメージが強いですね。お客様の人生や事業をよい方向に変えて行く、しかもそれで依頼者が感動するというのは、いったいどういう感じですか。

●井口 相手が存在することが多いという点で「サムライ」というのがぴったりくるかもしれません。映画「7人の侍」で農夫から依頼を受けて闘うように、依頼主にはいろいろな方がいるのですが、その依頼主のために、刀一本で命を賭けて戦うイメージです。どうやったら勝つか。ちょっと古いですが、美空ひばりさんの「柔」という歌に「勝つと思うな、思えば負けよ。」とあります。勝つんだというより、絶対負けたくないという思いをとっても大切にしています。そうすると相手との間に解決への道筋が見えてきて、依頼主の正義を実現できる。弁護士って、テレビで見ると格好よくて、キレイで、いつも主人公で登場しますが、現実には主人公はクライアントのお客様なので、私たちはいわば黒衣です。勝負が終わったら、依頼主の人生や事業を正常に戻していくことまでが仕事です。

●下地 なるほどサムライですか。私たちの仕事では相手方というのがいませんからね。

●井口 そうですね。しかし、お客様の生き方や事業のあり方を大事にして、物事をうまく解決方向に向けていく、人生や事業を成功させていく感じは同じだと思います。下地さんがお客様の頭の形、毛量、毛流、髪質、顔の形に合わせてゴールデンフォルムを創られるというのと似ています。その人や会社も持っている問題で、その方々の考え方を大事にしながら、問題点をみつけ、倫理感や常識からの逸脱をうまく補正して、直していく。そして、その補正が、ゴールデンフォルムをつくる。その形は、人生や事業にとって先々まで素晴らしい結果を出し続けるものでないといけないと思っています。それが感動に結びつくものだと考えています。

●下地 その人の輝きを創っていく、人をきれいにしていく仕事っていう意味では、同じだということですか。意外ですね。

●井口 むしろ共通するところがとても多いように思います。ところで、ashaのスタッフのみなさんは、とても爽やかで生き活きされていますよね。みんなashaが大好きって感じですか。

●下地 一生懸命に仕事をして、真剣にお客様を笑顔にし

よいと思うとすごい力がでて、今までに見たこともないすばらしい世界が見えてきます。その世界をうちのスタッフには是非経験してもらいたいと思っています。そのために、コンテストには積極的に出場するよう促しています。先日もうちからチャンピオンができました。みんな厳しいレッスンをしています。技術は一生ものですからね。それにはチームワークもとても大事にしています。合宿をしてチームで年間計画を立てたり、また一人一人もマイストーリーを発表して、みんなで指摘しあい、それぞれの目標を形にしていくようにしています。自主活性型サロンを目指し、みんなを信頼してまかせるようにしています。



●井口 動きがとても合理的で、かつ積極的ですよ。うちもチームワークを大切にしていますが、みんなでエネルギー方向を一致させるとすごい力が出ます。お客様の難解な事件も物事もいい方向に動き出します。お客様にも、ぜひこのなんともいえない素晴らしい世界を経験してもらいたいです。手前みそですが、うちも弁護士、スタッフともに本当によく頑張っています。

●下地 神戸シティ法律事務所に行かせていただきましたが、感動しましたよ。井口さんの思いは皆さんで実現されていると思います。空気感がよかったです！来てよかったね。来てよかったねって言いながら帰りました。部屋は非常にすっきりと落ち着いていて、グリーンがあり広い窓があって開放感もあります。弁護士もスタッフのみなさんともとてもいい笑顔で対応されています。弁護士さんに会うという

だけで緊張していましたが、全然、雰囲気の違いでした。ピリッとしながらもリラックスできるという感じですね。そこで丁寧に話を聞いてくれて解決方法を提示してくれます。それに打ち合わせの最後に出していただいた甘い紅茶は、ほんとうに美味しかった。

●井口 ありがとうございます。甘い紅茶は、スタッフが考えてくれたんです。真剣な会話をしていると疲れてくるので、ほっと一息甘いお茶を飲んでくださいと。

●下地 あれは美味しかった。ashaは、「絆創俵」でお客様の個の俵せをつくらせていただいています。それは結局、地域の方々みなさんの俵せを創ることにつながっていると感じ、スタッフ挙げて、お店の周辺地域で良いお店を紹介したり、いろんなイベントを企画したり案内したりして地域活性をしていきたいと思っています。

●井口 「絆創俵」で地域を巻き込んでいってほしいというのも感動です。私たちも、神戸、兵庫県を中心に仕事をさせていただいておりますが、この地域のみなさんが笑顔になっていただくことが私たちの使命だと思っています。サムライの精神をもつ優しく熱い弁護士と素晴らしいスタッフがいる事務所にして、さらに地域に貢献すべく努力し続けていきたいと思っております。今日は本当にありがとうございました。

●下地 こちらこそありがとうございました。お互い頑張っていきましょう。(対談日：平成26年12月10日)

◆下地宏和 www.asha.co.jp



2002年4月 asha 芦屋店、2005年4月 asha 神戸店オープン。「絆創俵」を経営理念としてお客様に心から満足いただけるスタイルづくりを目指している。2000年ゴールデン チューリップ国際大会(オランダ)優勝、HAIR WORLD CHAMPIONSHIP (ドイツ) 優勝。

▼ 3年目に入りました

社会人として丸2年が経ちました。時に壁にぶつかりながらも充実した毎日を送っています。1年前に、オフィスのレイアウトを変えたところ、弁護士とスタッフがコミュニケーションをとりやすくなり、笑顔も増えた気がします。(事務課 吉田)

▼ 邁進

問題が解決して電話の向こうの弾んだ声を聞いたときに、満面の笑顔が思い浮かびました。頑張ってたかった瞬間です。そうしてまた、次の仕事に集中している自分になります。よし、頑張るぞ！
(弁護士 二宮淳次)

▼ 英語 e-mail レッスン

レッスン中は弁護士、スタッフ関係なく、「George」「Anne」とイングリッシュネームで呼び合います。普段「先生」と呼んでいる弁護士に、「Anne」と呼びかけることは、最初は恥ずかしく……。でも、週2時間をこのネームで呼び合うことで、同じ目標に向かう「仲間」として、お互いをより近くに感じるようになりました。(事務課 山形)